



# 葛の葉だより⑨



発行責任者：校長 佐川 綾子 令和5年(2023年) 1月23日(月) 発行

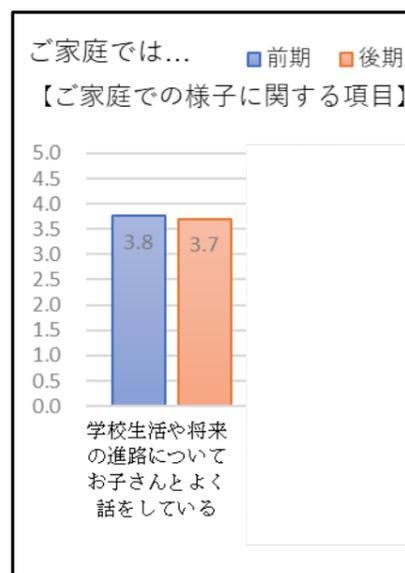
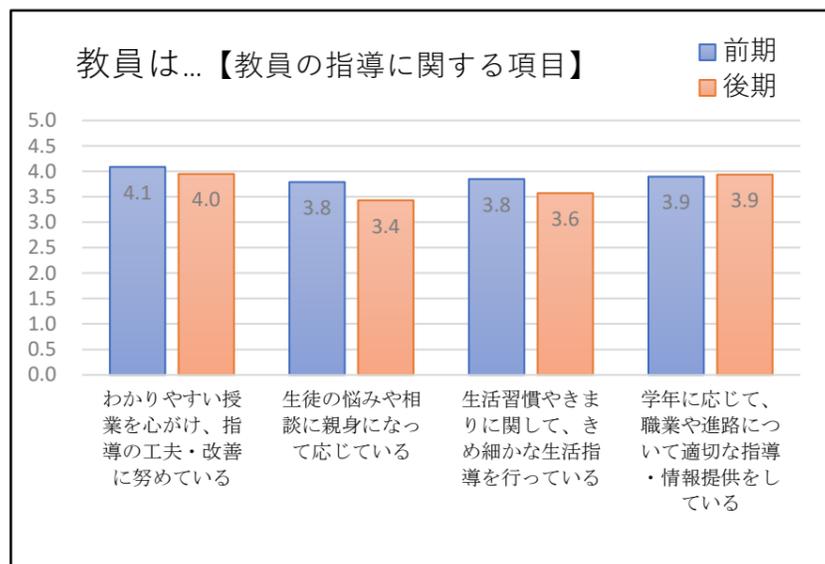
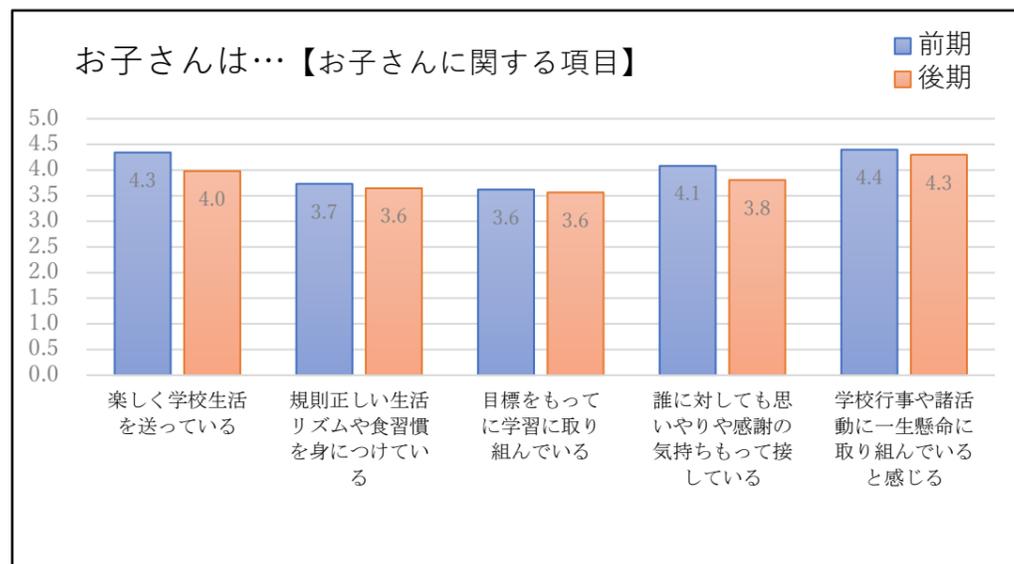
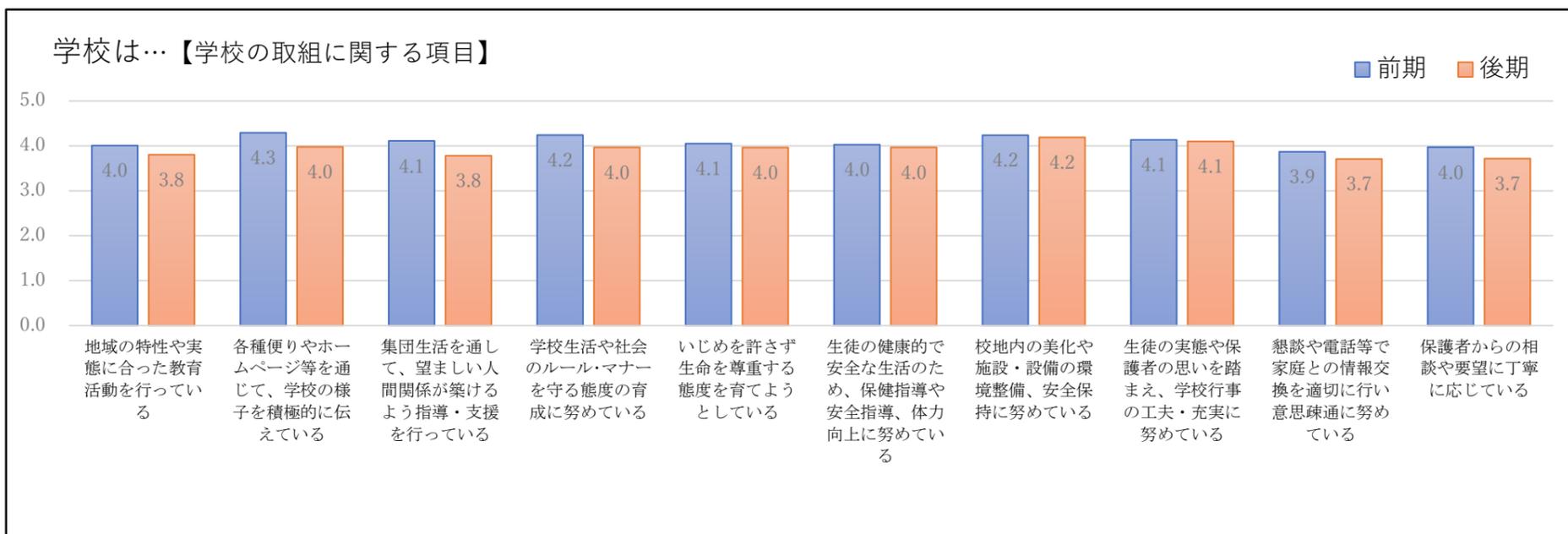
## 3学期スタート～次年度に向けて助走開始！～

3学期が始まり2週間が過ぎました。20日(金)の総合的な学習の時間には、遠野オートキャンプ場の方にご指導いただきながら、1・2年生が「楮刈り体験」を行いました。毎年恒例の行事とは言え、鋸を使って楮を切ったり、切った楮を麻縄で束ねたりと、普段使うことのない道具を用いての作業に最初は苦勞していましたが、手慣れてきたころには、笑顔で声をかけ合いながら作業を進めていました。いよいよ27日(金)は「紙漉き体験」です。

危惧されていた新型コロナウイルス第8波が勢いを増していますが、先日配付した市教委からの通知「保護者の皆様へ」にもありますとおり、学校では今後も感染症対策を講じながら、教育活動を継続していきます。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

さて、全2回の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果についてまとめたものを次のとおりお知らせします。

### <保護者アンケート結果>



5段階評価で、全体平均値が3.9であることから、本校の教育活動を概ね肯定的に評価していただいていることが分かります。一方、多くの項目で後期の数値が前期よりも下がっており、中でも「教員は、生徒の悩みや相談に親身になって応じている」、「教員は、生活習慣やきまりに関して、きめ細やかな生活指導を行っている」が低い結果となりました。本校では、生徒が毎日安心して学校生活を送れるよう、日々の関わりや定期的な教育相談、及び生活アンケート等により、生徒理解と適切な支援に努めております。引き続きトラブルを未然に防ぐ指導はもちろんのこと、教職員が子どもの視点に立ち、それぞれの思いや願いと向き合えるように、スクールカウンセラーとも連携しながら教育相談体制の一層の充実を図ってまいります。また、生徒一人一人の納得感を大切に生活指導に努めるとともに、自律した学校生活の実現に向け、自分たちにとって何が適切かを生徒自らが考え、判断する力を養うことを重視した学校づくりを進めていきます。

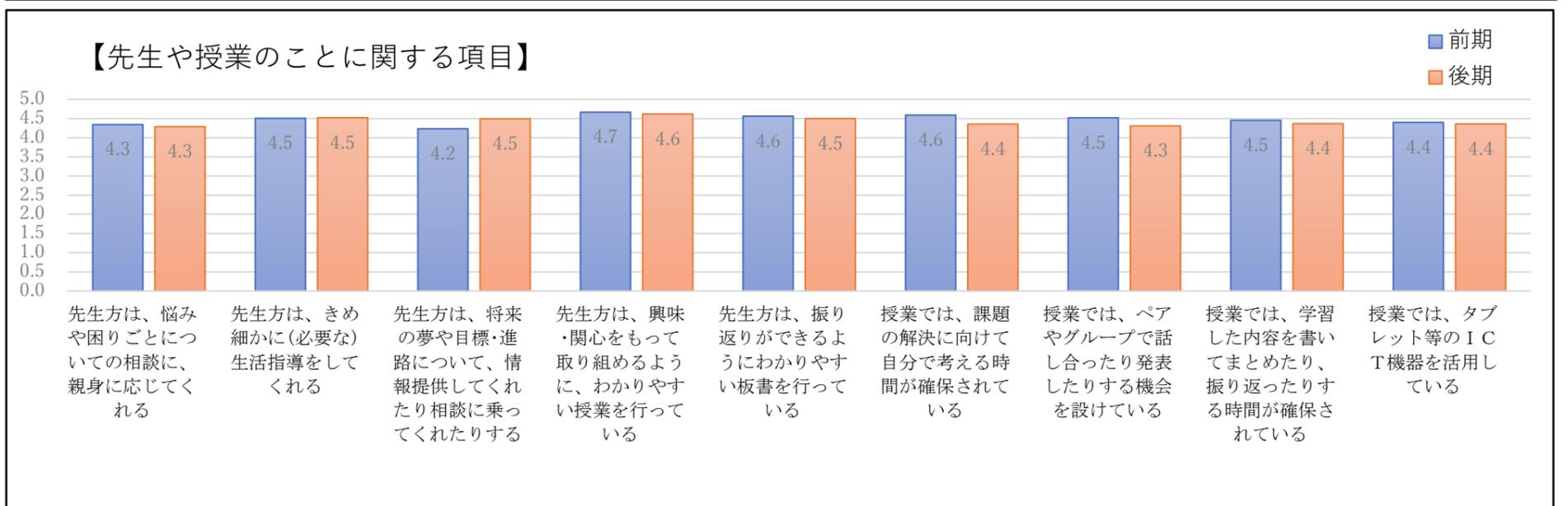
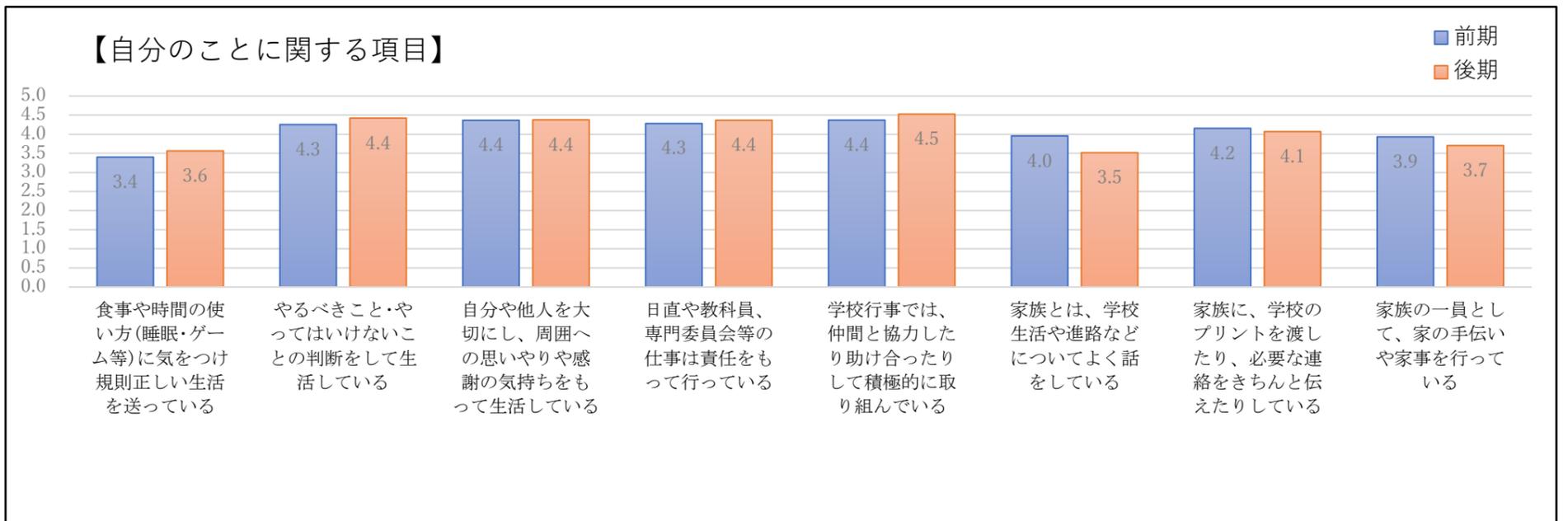
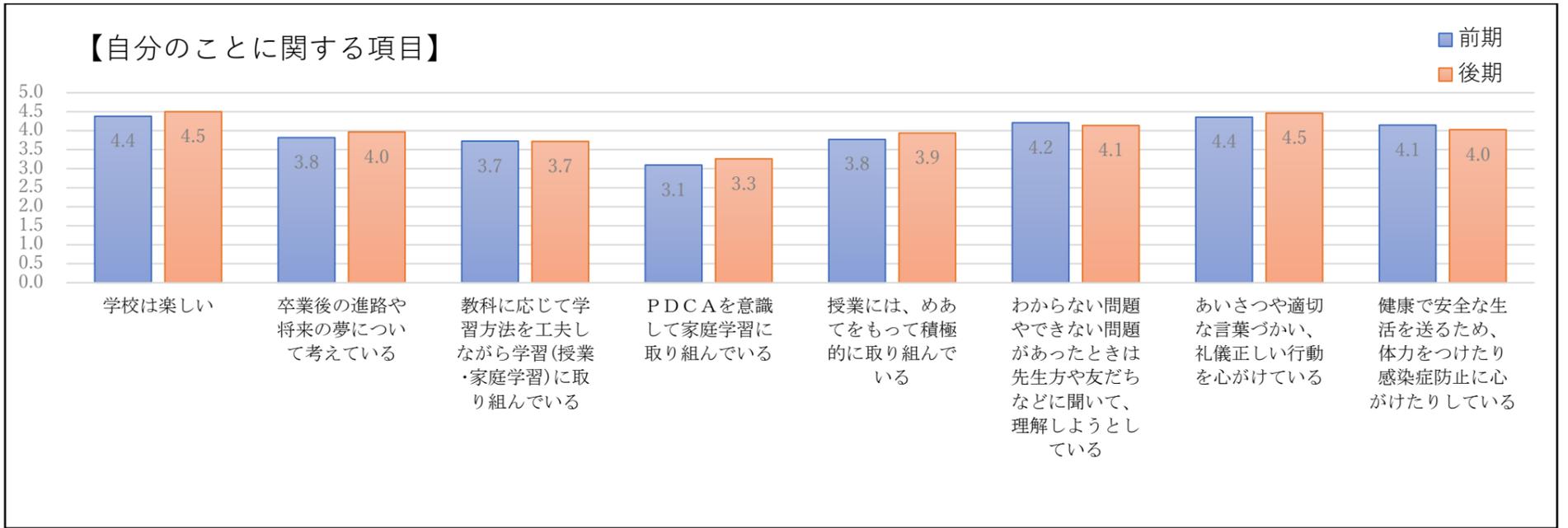
お子さんに関する項目では、「規則正しい生活」や「学習への取り組み」が3.6に留まり、裏面の生徒結果同様低い数値となりました。基本的な生活習慣や健全な食生活の確立は、充実した学校生活を送るためだけでなく、感染症の予防の観点からも大切なことです。学校でも生徒の生活習慣の実態を捉えるとともに、生徒が自らの生活を振り返る場を設けていきたいと思いますが、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。学習については、授業におけるガイダンス機能の一層の充実を図るとともに、生徒たちの将来の夢や希望につながるキャリア教育の実践に努めます。

自由記述の中では、「毎日楽しく学校に通っている」、「行事を通して良い経験ができた」といったご意見を頂いた一方で、毎週火・木曜日に生徒会本部と週番委員が行っているあいさつ運動について、「あいさつをしっかりしているのは一部の生徒のみ。活動として意味が無いのでは。」といったご意見もいただきました。あいさつは活気ある学校生活の基盤であり、人間関係を築く上でも欠かせないものです。

学校では、身近な大人が手本となり、いつでも、誰にでも自分から進んで挨拶ができるように継続的に指導してまいります。同時に、あいさつ運動については、その意義を踏まえた活動になるよう、実施形態や在り方について生徒とともに検討していきます。貴重なご意見をありがとうございました。尚、個別に対応が必要な相談・ご意見につきましては、いつでも学校へご連絡ください。

※ 裏面「生徒アンケート結果」もご覧ください。

<生徒アンケート結果>



「PDCA(計画→実行→反省→改善)を意識して家庭学習に取り組んでいる。」の項目で、前期3.1、後期3.3、「食事や時間の使い方(睡眠・ゲーム等)に気をつけ規則正しい生活を送っている」の項目で、前期3.4、後期3.6と低い結果となりました。

PDCAサイクル(R-PDCAサイクル)を意識した学習の重要性については、昨年配付した葛の葉だよりでも、県教委作成の『家庭学習スタンダード』の内容をもとにお伝えしたところです。

Research【テスト結果等をもとに自分の課題を客観的に捉える】→ Plan【目標を設定し、自分に合った学習方法を考える】  
 → Do【学習して(教えてもらって)「わかる」ようになったことを、自分の力でもう一度やってみる】→ Check【何ができて何ができなかったのかを分析して】  
 → Action【「できる」ようになるまで繰り返し練習する】

どんなに勉強していても、到達不可能な目標だったり、勉強の成果が実感できなかったりすると長続きしません。生徒が主体的に学習に取り組み、自分に合った学習習慣の定着を図っていくことが必要です。学校においては、前述したとおり、各教科の学び方のオリエンテーションを丁寧に行うとともに、宿題や自主学習を課した後の確認・評価方法を工夫したり、授業の中で宿題(復習・予習)を効果的に活用したりするなど、家庭学習の習慣化・質的改善に向けた取り組みを継続してまいります。また、規則正しい生活習慣は、健康の源であり、学力を支える柱でもあります。「起床、朝食、登校、下校、夕食、就寝」などといった生活のリズムを整えることで、計画的に学習の時間を取りやすくなります。早寝早起きをして睡眠時間を十分に確保し、きちんと朝食を食べることができるようご家庭でもご協力をお願いします。中学生は、部活動や習い事などがあり、家で過ごす時間が短くなりますが、その中で自らの生活リズムをコントロールする力をつけることが、結果的に学力などの向上につながります。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

【教育目標】 ■進んで学び創造力のある生徒 ■心豊かで思いやりのある生徒 ■心身共にたくましい生徒  
 〒972-0252 いわき市遠野町上根本字荒神平 20  
 TEL 0246-89-2514 FAX 0246-89-2574 e-mail [iritono-jh@city.iwaki.lg.jp](mailto:iritono-jh@city.iwaki.lg.jp)

